

平成28年第2回山田町議会臨時会会議録（第1日）										
招 集 告 示 日		平成28年 2月 5日								
招 集 年 月 日		平成28年 2月10日								
招 集 場 所		山田町役場 5階議場								
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告		開 会	平成28年 2月10日午前10時00分				議 長	昆 暉雄		
		閉 会	平成28年 2月10日午前10時38分				議 長	昆 暉雄		
応（不応）招議員 及び出席議員並び に 欠 席 議 員 出席 12名 欠席 2名 欠員 0名 凡例 出席 ○ 欠席 △ (不応招) ×		議 席 番 号	氏 名		出 席 等 の 別	議 席 番 号	氏 名		出 席 等 の 別	
		1	阿 部 幸 一		○	8	関 清 貴		○	
		2	田 村 剛 一		○	9	阿 部 吉 衛		△	
		3	佐 藤 克 典		○	10	坂 本 正		○	
		4	黒 沢 一 成		△	11	菊 地 光 明		○	
		5	田 老 賢 也		○	12	山 崎 泰 昌		○	
		6	木 村 洋 子		○	13	吉 川 淑 子		○	
		7	尾 形 英 明		○	14	昆 暉 雄		○	
会 議 録 署 名 議 員		13番 吉川 淑子			1番 阿部 幸一			2番 田村 剛一		
職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た 者 の 職 氏 名		事務局長		白土 まさ子		書 記		角 田 廉 子		
地 方 自 治 法 第 121条により 説明のため出席 した者の職氏名 凡例 出席 ○ 欠席 △		職 名	氏 名		出欠	職 名	氏 名		出欠	
		町 長	佐 藤 信 逸		○	国保介護課長	昆 秀 樹		○	
		副 町 長	甲斐谷 義 昭		○	健康福祉課長	菊 池 ひろみ		○	
		副 町 長	鈴 木 裕		○	建設課長	川守田 正 人		○	
		技 監	田 川 和 義		○	建築住宅課長	佐々木 政勝		○	
		総務課長	花 坂 惣 二		○	上下水道課長	佐々木 達彦		○	
		総務課主幹	倉 本 收 郎		○	消防防災課長	里 舘 敏 彦		○	
		企画財政課長	上 林 浄		○	教育委員長	山 崎 喜 六		△	
		復興推進課長	沼 崎 弘 明		○	教 育 長	佐々木 毅		○	
		会計管理者兼 税 務 課 長	澤 木 次 博		○	教育次長	佐々木 真 悟		○	
		農 林 課 長	古 舘 隆		○	生涯学習課長	菊 池 利 博		○	
		水産商工課長	甲斐谷 芳 一		○					
		町 民 課 長	中 屋 佳 信		○					
議 事 日 程		別紙のとおり								
会 議 に 付 し た 事 件		別紙のとおり								
会 議 の 経 過		別紙のとおり								

平成28年第2回山田町議会臨時会議事日程

平成28年2月10日（水）午前10時開議

・開 会

日 程 第 1 会議録署名議員の指名

日 程 第 2 会期の決定

日 程 第 3 仮議長の指名

日 程 第 4 議案第9号 船越公園災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

日 程 第 5 議案第10号 （仮称）山田町交流施設建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

平成28年2月10日

平成28年第2回山田町議会臨時会会議録

午前10時00分開会

(議事日程等別紙)

午前10時00分開会

_____ ○ _____

○議長（昆 暉雄）

定刻になりましたので、平成28年第2回山田町議会臨時会を開会します。

ただいままでの出席議員は12名であり、定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

参考までに申し上げます。欠席届の出ている者は、4番黒沢一成君、先ほど申し上げたとおり、インフルエンザに感染して感染期間に入っているということで、皆さんに感染してはうまいという事で、病欠で帰っていただきましたことを申し添えます。引き続き、9番阿部吉衛君も欠席届が出ている旨を報告します。

なお、やまだ議会だより及び広報やまだ編集のため、議場内での写真撮影、また報道機関の議場内でのビデオカメラ撮影を許可したことを申し添えます。

_____ ○ _____

○議長（昆 暉雄）

これより直ちに本日の会議を開きます。

_____ ○ _____

○議長（昆 暉雄）

日程第1、会議録署名議員の指名をします。

13番吉川淑子さん、1番阿部幸一君、2番田村剛一君、以上3名を指名します。

_____ ○ _____

○議長（昆 暉雄）

日程第2、会期の決定をお諮りします。

会期は本日1日限りにしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定しました。

_____ ○ _____

○議長（昆 暉雄）

日程第３、仮議長の指名をします。

本会期中の仮議長に12番山崎泰昌君を指名します。

○

○議長（昆 暉雄）

日程第４、議案第９号 船越公園災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。建設課長。

○建設課長（川守田正人）

議案第９号 船越公園災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて、その提案理由と工事の概要についてご説明申し上げます。

本工事は船越公園が東日本大震災により被災したため、平成２７年８月１７日から１８日まで国土交通省都市局及び財務省東北財務局の災害査定を受け、復旧方法が確定したことから工事を実施するものです。

それでは工事概要について説明いたしますので、資料２をごらんください。赤線で囲んでいる部分が船越公園災害復旧工事を行う区域で、６．１２ヘクタールとなります。災害復旧事業は原形復旧が基本となっており、船越公園の従前施設としてあった芝生広場、公園施設及び駐車場などを復旧整備するもので、掘削工１０，４００立方メートル、盛土工９，８００立方メートル、客土材敷設３４，５６０平方メートル、公園張芝２１，８５０平方メートルなどを施工するものです。

次に、請負契約についてですが、資料１をごらんください。本工事は条件付き一般競争入札により行うこととし、山田町営建設工事発注基準に基づき１２月８日に町ホームページ等に掲載し、入札公告を行ったものであります。その結果、株式会社上の島、奥井建設株式会社の特定共同企業体、小岩井農牧株式会社、佐々総業株式会社の特定共同企業体、株式会社ＮＩＰＰＯ、有限会社港建設の特定共同企業体、むつみ造園土木株式会社、株式会社堀合建設の特定共同企業体の４つの特定共同企業体の応札があり、１月２５日に開札を行い、落札候補者に株式会社ＮＩＰＰＯ、有限会社港建設の特定共同企業体を指名しました。その後、資格の確認を行い１月２７日に落札者に決定し、２月２日に仮契約を締結したところです。契約金額は消費税額及び地方消費税額４，３３５万２，０００円を加えた金額、５億８，５２５万２，０００円で、工期は平成２８年２月１２日から平成２９年３月２４日までとしております。

以上、提案理由と工事の概要について申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（昆 暉雄）

質疑を許します。１０番。

○１０番坂本 正議員

このＮＩＰＰＯさん、港建設さんとなっておるわけですが、ＮＩＰＰＯさん、東北道の関係でちょっと談合の関係でちょこっと問題あるように聞いておりますが、私も知りませんのでちょっ

と教えていただきたいのですが、途中このNIPPOさんが談合の関係で何かあった場合、そのまま施工できるような格好になるのかな。

○議長（昆 暉雄）

待ってください。入札関係でございますので入札担当のほうで答弁できますか。企画財政課長

○企画財政課長（上林 浄）

入札の関連がございますので、私のほうからご説明をいたします。確かに新聞報道等によりまして、NIPPO初めとする大きな会社の捜索が進んでいるということは報道で知っております。現時点、まだそういったことに伴う処分、そういったような形がとられておりませんので、現在のところ特に問題は発生しない。今議員ご指摘のとおり、じゃあこれからどういう形になって、あるいは国の指名停止、あるいは県の指名停止、そういったようなことがあった場合にはどうなるのかということでございますが、仮定の話ではございますけれども、そういう処分が下された時点で、そこから始まる入札行為等については何らかの処分を町としても検討せざるを得ないだろう。ただ現在請負をしている工事につきましては、現在の法規からいきますと支障がないというふうに理解をしております。

○議長（昆 暉雄）

10番。

○10番坂本 正議員

分かりました。一応そういう格好でちょっと心配なものですので、ちょっと聞いてみました。今後とも例えばこういう問題生じている会社があった場合に、やはり一応はそこら辺の、それ以前の段階で精査していただいて、ちゃんとしていただければこういう質問がないと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（昆 暉雄）

2番。

○2番田村剛一議員

図面を見てちょっとご質問しますけれども、先ほどの説明で、これは災害復旧だということでございます。人間というのはちょっと時間が過ぎるとかつてのものをもう忘れてしまうのですけれども、この図面はほとんど前と同じ公園の形態になっているのかどうかということです。こんなに複雑だったのかなという思いがしたりしているものですから。それから後はわざわざ新設復旧とか既設復旧という字が括弧書きであるのですけれども、新設復旧は分かるのですけれども、既設復旧というのが一部だけにあって他のところはないことを考えると、あとは全て新しいのかなと思ったりもするものですけれども、その辺の説明、前の公園とほとんど同じなのか、それともこういうところが違ったのか、面積についてもどうかということをお答えいただきたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

建設課長。

○建設課長（川守田正人）

以前と比べて同じような復旧状況になるのかということです。基本的には災害復旧ということですので、従前の施設と同じような形で復旧するというものでございます。ほとんど変わりはございません。同じような形で復旧されるという形になります。

2点目の既設復旧、新設復旧ということですが、既設復旧の部分は原形がまだ残っておりますので、そのまま活用できるという形になります。新設復旧については津波によりまして原形をとどめておりませんので、新たにそこは整備し直すという形になります。

公園の面積ですけれども、既存の公園部分が防潮堤にかかる部分がございます。その分で面積が従前は8.4ヘクタールございましたが、6.1ヘクタールに減少しております。約2.3ヘクタールほど今回復旧する公園の面積は少なくなっているという状況でございます。

以上です。

○議長（昆 暉雄）

2番。

○2番田村剛一議員

公園部分についてはほとんど前と同じということになればそのうちにイメージが湧いてくるのかなと思ったりしているのですけれども、実はこの入江田沼は相当変形していますよね。震災前と震災後は。これについて震災復旧ということになれば、ここについてもいつかの段階で手を付けることになるのかどうか。そしてまた入江田沼の反対側にも建物等がありましたよね。それは公園地内に入らないのか。一番聞きたいのは入江田沼を現状のまま後は手を付けないでおくのかどうかということです。その辺もひとつ伺いしたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

建設課長。

○建設課長（川守田正人）

入江田沼につきましては、震災によりましてちょっと形が変わっている部分もございます。それと防潮堤工事に伴いまして一部埋め立てしている部分もございますが、この赤線で囲んであります公園用地の区域にかかる部分については原形復旧していく形になりますので、その部分については入江田沼にも手がかかる部分はあるのかなというふうには考えております。

あと、入江田沼を挟んだ東側の部分につきましては、ここは公園の区域に入っておりません。今回の復旧事業の部分は、あくまでも赤の線で囲んであります区域という形で復旧工事を進めていく形になります。

以上です。

○2番田村剛一議員

大体説明で分かったのですけれども、入江田沼ね、あれ相当変形していますよね。そして今のまま

の状態であれば、危険といえは変ですけれども人が近づいていくということはやはり問題があるのではないかなという思いもしているのです。それで将来的に見たときに、この入江田沼にも手をかける計画が出てくるのかどうか、それともそのまま放置するのか。変な話ですが放置といっても、ちょっと失礼になりますけれども。その辺をお伺いしておきたいと思います。

（「入札に関してだもの。それは関係ないだろう。」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

関連で出ますか。建設課長。

○建設課長（川守田正人）

当然、入江田沼の部分につきましては転落とかそういう危険がある場所については防護柵を設置するなど考えていかなければならないのかなというふうには考えてございます。

○議長（昆 暉雄）

質疑を終わります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

討論なしと認めます。

これより議案第9号 船越公園災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてを採決します。

本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

異議なしと認めます。

よって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

_____ ○ _____

○議長（昆 暉雄）

日程第5、議案第10号 （仮称）山田町交流施設建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。建築住宅課長。

○建築住宅課長（佐々木政勝）

議案第10号 （仮称）山田町交流施設建設工事の請負契約の締結に関し議決をもとめることについて、その提案理由と工事の概要についてご説明申し上げます。

町では、コンパクトな町づくりを目指しており、陸中山田駅前を拠点商業施設エリアとして整備することで、山田町復興計画に位置付け、平成26年度には山田町まちなか再生計画を策定いたしました。

同計画では商業施設整備の他、にぎわいの創出を目的として町民や観光客等の集客につなげるための各種イベント等を実施する施設が計画されていることから、本交流施設を整備するものであります。

それでは、工事の概要について別紙資料によりご説明いたします。資料2をごらんください。図面右上が案内図で、図面下側が配置図であります。黄色で着色している箇所が今回建設する交流施設の位置となります。延べ床面積665.37平方メートルで、坪にしますと約200坪、構造規模は鉄骨造り3階建てであります。

資料3をごらんください。左下が1階平面図であります。床面積は238.60平方メートルで、用途はエレベーター、多目的トイレ、階段及びピロティとし、朝市等のイベントに利用できるよう計画しております。右下が2階平面図であります。2階の床面積は254.47平方メートルで、交流スペースや震災ギャラリー、男女トイレ及び倉庫等とし、各種研修や震災の継承等に利用できるようになっております。左上が3階平面図であります。3階の床面積は172.30平方メートルで、調理室、集会室、男女トイレ及び外部デッキを配置し、料理教室や各種イベントに利用できるようになっております。右上が屋上平面図であります。屋上階は新設の防潮堤により見えなくなる山田湾や復興事業が進む町を一望できるような高さとなっております。

資料4をごらんください。立面図であります。左下が町道南町・大畑線側から見た北立面図、右下が駅前広場側から見た西立面図、左上が戸建店舗棟側から見た南立面図、右上が国道45号線側から見た東立面図であります。外壁の色については他の共同店舗棟と調和を図った色彩で考えております。

次に請負契約についてですが、資料1をごらんください。本工事は山田町営建設工事請負資格審査委員会の選定に基づき、町内1者、準町内1者、県内20者の合わせて22者を指名したものです。その結果、奥井建設株式会社、株式会社カガヤ山田営業所、株式会社菊地建設、株式会社タカヤ、樋下建設株式会社、陸中建設株式会社、6者の入札参加があり、去る1月29日に入札会を執行し、奥井建設株式会社が落札し、入札書記載金額2億2,000万円に消費税及び地方消費税額を加えた2億3,760万円で、2月4日に仮契約を締結しているところです。工期は平成28年2月12日から平成28年8月31日までの202日間となっております。

以上、提案理由とその概要について申し上げました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（昆 暉雄）

質疑を許します。10番。

○10番坂本 正議員

いいことでございます。ところが一つ私、3階建てで屋上の仕上げ、塩化ビニールになっておるのですが、この塩化ビニールの耐用年数というのは何年をみているのですか。

○議長（昆 暉雄）

建築住宅課長。

○建築住宅課長（佐々木政勝）

シート防水につきましては、耐用年数 10 年保証という形になってございます。

以上です。

○議長（昆 暉雄）

10番。

○10番坂本 正議員

そうするとこの建物は10年以降はこの塩化ビニール、またとっかえなくちゃならないのか。これはずっと山田町が存続する限りこの建物はずっと利活用すると思うのですが、そういう関係でこの10年というのは、何で塩化ビニールにしたのか。おかしいのではないかなと思うのです。それでは、この建物の耐用年数は何年になっているの。10年じゃないでしょう、鉄骨造りだから。そこら辺を踏まえた中で何で塩化ビニールになっているの。おかしいのではないですか。

○議長（昆 暉雄）

建築住宅課長。

○建築住宅課長（佐々木政勝）

まず耐用年数のほうでございますけれども、鉄骨造りでありますので45年の耐用年数にはなります。塩化ビニールを使用した件につきましては、建物の加重等も検討し、コスト面も検討した上でシート防水の設計で進めた経緯でございます。

以上です。

○議長（昆 暉雄）

10番。

○10番坂本 正議員

私が言いたいのははっきり言ってそれは金、安くしたいというのは分かります。ただ、はっきり言って耐用年数が 40 年なのに対して、45 年だか、今言ったのは。その 45 年に対して防水シートが 10 年だというのは納得いかないのです、私は。何でそういう設計にしたのだか。何で初めから 45 年の耐用年数の鉄骨造りを屋根だけ 10 年というのはおかしい話ではないですか。何でこれを、設計屋さんどこだかわからないけれども、これはおかしいやり方じゃないの。これ、何とかならないですか、今からでは。契約したからだめですか。45 年の耐用年数に対して何で屋根だけ 10 年というばかな話がある。ちょっと考えてみたって、普通の人が考えたっておかしいじゃない。それなら、例えばですよ、自分の家が 45 年の耐用年数なのだと。屋根だけ 10 年でとっかえるかと言ったら、だれがそんな設計の仕方するって。反対に、後でまた金かけるような設計になって、今さえよければいいという考え方だからこういうことになる。そこ、あとちょっと考える余地ないですか。

○議長（昆 暉雄）

待ってください。暫時休憩をします。

午前 10 時 25 分休憩

午前 10 時 26 分再開

○議長（昆 暉雄）

会議を再開いたします。

答弁を求めます。建築住宅課長。

○建築住宅課長（佐々木政勝）

一番には工事の事業費というものがございまして、その中で3階建ての建物を設計して建てなければならない。そういう中で設計には吟味した中でやはりコストが合わなければ当然工事を発注できないという部分があったので、そういう中でこのシート防水という設計になったこととございます。ただし、シート防水、保証期間は10年ではございますけれども、コミュニティセンターとか保健センターも10年保証とは言いながら20年くらいは…。

（「答えになっておりません」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

甲斐谷副町長。

○副町長（甲斐谷義昭）

まずもってご質問のありました、今から設計変更ができないのかという点でございますが、今からではできないということとあります。その塩化ビニール防水シートを使った根拠ですが、今はコストのことについて課長のほうから説明がありましたが、保証は10年であっても若干は延びるということと、最初から塩化ビニールの防水シートは15年、20年で劣化すると、取り替えることを想定してこういう設計にしているということとございます。これが屋根方式にすると随分とコストが高くなって、屋根にしてもいずれ10年なり15年なりでペンキの塗り替え等が出てくると。これらを総合的に勘案して、このような設計にしたということとございます。

○議長（昆 暉雄）

2 番。

○2 番田村剛一議員

交流センターについては必要なのかなと思っていますけれども、若干お伺いしたいと思っていますが、私個人の考えの中では、交流センターがこの場所といえれば変ですけども、すごく建物が窮屈な感じがするものですから、それについてここが一番いいと考えた理由についてお伺いしたいと思います。同時に前にどこかに避難塔を造りたいという話がありまして、その際にこの交流センターみたいなものを造った場合に、そこを兼ねると。先ほどの説明の中でも、避難場所としても利用できるような話でありましたが、そうしますというと主に、主にといえば変ですけども、交流センターとそれを合わせた形でこういうふうな設計になったのかなとこういう思いもしておるのです。というのは3階に調理室がありますから、万一の場合にはここも使えるようにしたのかな、こういう思いがしておりますので、ここにしたこと、それからこの中身です。どのように利用する、どういう人たちに利用

させるかということをお伺いしたいと思います。今あるコミュニティセンターと形態が非常に似ているものですから、運営についても同じようにするのかなと。そしてこれは町の直営にするのか、それとも、商店街の中にありますから、どこか民間に委託するつもりでこういう形にして建設したのか、その辺をお伺いしたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

2番議員に申し上げます。今回は入札契約でございますので、単価の問題とか、そういうものを含めての質問であって、別の機会でそういうものを質問していただきたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

2番。

○2番田村剛一議員

今、別な機会にというお話でございましたが、別な機会があるのでしょうか。これについてできた後にそういう質問を受ける機会があれば私はしてもいいと思いますが、もうできてしまえばこのとおり進んでいってしまうだろうと、こう思っているのですよ。いや、いいですよ、もう一度機会を与えますというのであれば、その機会にいろいろ説明受けたいなと、こう思っています。非常に重要な施設だと思っているのです。前にも話したように、防災塔も造るという話もありましたものですから、それらも合わせて質問したいと思っていました。はい。

○議長（昆 暉雄）

2番議員に申し上げます。今回は位置でなくて、契約案件で、金額によって高いか安いかの問題でございますので、例えばそういうのがあれば全員協議会で前もって説明をさせますので、そういうものを含めながら質問していただければ分かるのですが、そういうことではなくて、例えばああだこうだとなってしまうと、契約条項に違くなってきますから、そこを含めてもう一度質問をしていただきたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

町長。

○町長（佐藤信逸）

実はこの交流施設に関しましては、全協で相当もんでおります。場所、その目的の趣旨、そういうものをもんでございますので一つご了解いただきたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

2番。

○2番田村剛一議員

いいですよ。そういう機会が与えられればその時にお伺いします。

○議長（昆 暉雄）

言っている内容は、今回のものについていろんなものが疑問があるのであれば次の機会から、例え

ば全員協議会で説明させるなら説明させて、入札に入るということも考えてもいいのですが、今回のものについてはその契約条項でございますので、そういう面から質問していただきたいと思っております。執行部で答弁するのに困ると思うのですが、そのものを含めて関連した質問では受け付けますかどうか。

○議長（昆 暉雄）

2 番。

○2 番田村剛一議員

屋上の件について一つだけお伺いします。これは、避難塔、避難場所というものも兼ねてこれを設計したのかどうかということです。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（甲斐谷芳一）

全体のレイアウトとか交流センターの位置付けの話でございますので私のほうからお答えいたします。基本的にはあその場所というのは3メートル上げておりますので、今次津波が来た場合であってもあそこは大丈夫というコンセプトになっております。したがって、仮に今次津波より大きい津波が来た場合は議員おっしゃるとおり避難場所にはなるというふうに考えております。ただ、それが主ではない。あくまでもあそのエリアのにぎやかさを、交流施設が一端を担うということでございます。

それから全体的な説明については余計な話でございますけれども、前からお話しているとおり、共同店舗棟等含みまして、機会をいただければ全体的な説明はしたいと思っておりますので、その時にお願いしたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

8 番。

○8 番関 清貴議員

それでは、この仮契約書に、工期なのですけれども、8月31日までになっていますが、これ位置関係見ますと、共同店舗棟も含まれているのですけれども、この時期とあわせた工期と考えておりますが、それでよろしいかどうかということと、8月31日、ほかの共同店舗棟と一緒に完成時期を迎えるに当たって、町のほうの現場監督のほうの体制はきちんとしているのかどうかというのをお聞きしたいのと、もう1点、この3階建ての建物の中にそれこそバリアフリーの要素が施されているのかどうか。もしエレベーターのみで、車椅子等は移動するような形に見えるのですけれども、停電等になった場合の方策とかなんとかという考えたバリアフリーも考えているのかどうか、そのことについてお聞きしたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

建築住宅課長。

○建築住宅課長（佐々木政勝）

1点目の共同店舗棟と錯綜する部分があるということでございますけれども、一応同時期のオープンを目指しておりますので、他の業者さんと今回受託した業者さんと整合を図りながら進めていきたいと考えてございます。あと、監督の部分につきましては、設計事務所さんのほうに管理も委託する形でございますけれども、町のほうでも建築の技師が一緒に対応して進めたいと考えてございます。あと、バリアフリーについてでございますけれども、エレベーターは設置してございますけれども、今回の設計ではスロープ等は考慮していない設計となっております。その中で停電があった場合には非常用照明の設備はございますので、それで避難する形はできると考えております。

以上です。

○議長（昆 暉雄）

質疑を打ち切ります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

討論なしと認めます。

これより、議案第10号（仮称）山田町交流施設建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてを採決します。

本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

異議なしと認めます。

よって、議案第10号は原案のとおり可決されました。

_____ ○ _____

○議長（昆 暉雄）

以上で本日の日程は全て終了しましたので、これをもって閉会といたします。

午前10時38分閉会